

【各国議会】日本関係情報

【アメリカ】米国議会における日本研究グループの紹介

2010年6月15日、下院本会議において、元連邦議員協会のレセプションが行われた。年次報告を行う中で、元下院議員のコニー・モレラ(Connie Morella)氏は、ドイツ、トルコ及び日本との議会研究グループについての概要説明を行った。日本に関する議会研究グループは、1993年に創設され、日米友好基金の支援の下、日米両国の議員間に協議の場を提供している。この研究グループは、超党派の連邦議員によって構成されている。モレラ元議員は、2009年に元連邦議員協会がドイツ、インド及び米国の3か国による再生可能エネルギーに関する円卓会議を立ち上げたことを紹介し、近い将来、この対話に日本の議員が参加することも視野に入れていると述べた(『外国の立法』No.242-1, January 2010, p.33を参照)。

<http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getpage.cgi?dbname=2010_record&page=H4431&position=all>より

【アメリカ】慰安婦決議3周年に関する発言

2010年7月28日、エニ・ファレオマヴァエガ(Eni Faleomavaega)下院外交委員会アジア、太平洋及び地球環境小委員長(民主党、アメリカン・サモア代表)は、下院本会議において、2007年7月30日に下院を通過した慰安婦決議(H.Res.121)について発言した。この決議には、「韓国系アメリカ人有権者評議会」が強力な支持者として、連邦議員の啓発に積極的に関わっていることを紹介している。この評議会は非営利団体で、草の根のボランティア活動家からなる。ファレオマヴァエガ小委員長は、日本政府に対し、この決議に従い、過去の過ちを公式に謝罪する必要があると、強く促している。

<http://frwebgate.access.gpo.gov/cgi-bin/getpage.cgi?dbname=2010_record&page=E1456&position=all>

【アメリカ】米国議会図書館議会調査局(CRS)レポート「日米関係：議会のための論点(Japan-U.S. Relations: Issues for Congress)」

2010年7月30日刊行。日米関係に関する争点の総覧的レポート。「最近の動向(参議院議員選挙において敗北を喫した民主党)」「米国議会が日米関係において果たす役割」「主要な外交及び安全保障問題(北朝鮮及び6か国協議、アフガニスタン・パキスタン問題、国際気候交渉、地域及び歴史問題、国際的親権紛争)」「軍事問題(米軍再編合意及び普天間基地の移設をめぐる論争、責任分担問題及び地位協定、F-22をめぐる議論、拡大抑止、核をめぐる密約問題、憲法第9条の制約)」「経済問題(2国間経済関係の概観、2国間通商問題)」「日本の政治(2010年の2つの政治的衝撃、日本の人口問題)」「第111議会(2009-10年)の日米関係についての主要な法案の紹介」から構成されている。「日本の政治」の項では、参議院選挙結果の分析及び自民党に関する分析が行われている。

<http://assets.opencrs.com/rpts/RL33436_20100730.pdf>

【韓国】尖閣諸島海域漁船衝突事件に対する韓国政府の反応

韓国外交通商部のキム・ヨンソン報道官は2010年9月16日、定例ブリーフィングにお

いて、「尖閣列島で日本が中国の漁船を拿捕したことについて、中国側が駐中日本大使を呼び出すなど、外交的なもつれが生じている。韓国政府はどのような態度を取っているのか」との質問に対し、「中国と日本の領有権に関連した問題で、我が国政府がコメントする立場にないが、中国と日本のごこちない関係は、この地域の情勢にとって望ましくないため、両国政府が冷静な状態で、問題を賢明に処理することを期待する」と回答した。また同報道官は同月 27 日の定例ブリーフィングにおいて、「最近中国と日本が領有権争いをしているが、韓国政府は領有権争いの対象になっている島が、どちらの国の領土と考えているのか」との質問に対し、「我が国政府が公式的な立場を表明するのは適切でない」と回答した。

<<http://www.mofat.go.kr/press/breifing/index.jsp>>

【韓国】日韓首脳会談における李明博大統領の発言

2010 年 10 月 4 日、アジア欧州会合（ASEM）が開催されたブリュッセルにおいて、我が国の菅直人内閣総理大臣と韓国の李明博（イ・ミョンバク）大統領との間で日韓首脳会談が行われた。会談では日韓自由貿易協定（FTA）交渉、北朝鮮問題等が話し合われた。同大統領は日韓 FTA について、「両国首脳で、すでに FTA を進めるように合意ができている」と前置きした上で「お互いが努力して解決していきたい」と述べたほか、北朝鮮の核問題等を話し合う六者会合について、「核問題が真に解決されるという前提の下で開かれなければならないため、今後この問題に関しては我が国と日本とアメリカ、3 か国が引き続き積極的に協力をしていくようにしたい」と述べた。また、『朝鮮王朝儀軌』をはじめとする文化財の一部を引き渡すこと等に言及した同年 8 月 10 日の内閣総理大臣談話に関連して同大統領は、「迅速で果敢な処置が取られることを期待する」と述べた。

<http://www.president.go.kr/kr/president/briefing/briefing_list.php>

【中国】江田前参議院議長と 1,000 人の青少年の北京訪問を歓迎

馬朝旭外交部報道官は 2010 年 10 月 19 日の記者会見において、江田五月前参議院議長と 1,000 人の青少年が訪中していることについて次のように述べた。「訪中を歓迎する。日中両国人民は 2000 年もの友好交流の歴史がある。中国は日本と共に、両国人民特に青少年間の友好交流を継続して行い、相互の理解と友好的な感情を絶えず促進し、両国関係の健全な発展のために良好な社会的基礎を築くことを望んでいる。」

<<http://www.mfa.gov.cn/chn/gxh/tyb/fyrbt/t762437.htm>>

【中国】日本の国会議員の靖国神社参拝

馬朝旭外交部報道官は 2010 年 10 月 19 日の記者会見において、日本の一部の国会議員が靖国神社に参拝したことについて、コメントを求められ次のように述べた。「中国の靖国神社の問題についての立場は一貫しており、明確である。日本側は、歴史を鑑とし未来に向かうという精神に基づき、関係する問題を慎重にかつ適切に処理すべきである。」

<<http://www.mfa.gov.cn/chn/gxh/tyb/fyrbt/t762437.htm>>